

【相談】



管用平行めねじの「G」と「PF」は、同じですか？ 違うのですか？
また、使用する管用タップは、何をえば良いですか？
「PFタップ」と「Gタップ」の2種類がありますが・・・教えて下さい。

【回答】

管用平行めねじ「G」と「PF」は、基本的には同じです。
ねじの呼びが「PF」から「G」に変更されたと思って良いと思います。
(但し、「PF」規格にはあったB級めねじは、「G」規格では無くなりました。)
尚、当社の管用平行タップの「PFタップ」と「Gタップ」は、
全長とねじ部の長さは違いますが、タップの等級は同じなので、
「PF」「G」どちらの管用平行めねじ加工にも共用できます。



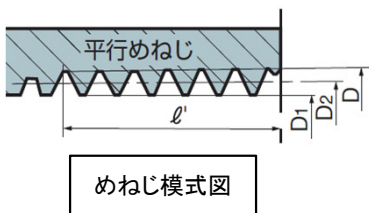
※おねじとダイスの関係は、
ダイス編 GとPFの違い-2で
記載しています。

【説明】



「PF」は、管用平行めねじの旧JIS規格の呼び記号になります。現行JIS規格では「G」の呼び記号になります。(但し、「PF」には規格があったB級めねじは、「G」では無くなりました。) 参考に、めねじ「PF1/2-14」と「G1/2-14」の規格寸法を下表に記載しますが、どちらも変わらない同じ値になっていますね。

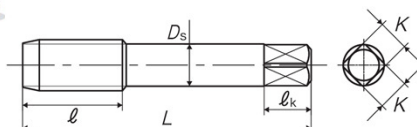
市場でのめねじ等級管理は、「PF」のA級 または、「G」で行なわれているのが通常です。「PF」のB級は、殆ど利用されていないようです。



		単位(mm)			
めねじ規格	旧JIS PF1/2-14(A級)		→	現JIS G 1/2-14	
	基準径	許容差		基準径	許容差
D 谷の径	20.955	~ 0	→	20.955	~ 0
D2 有効径	19.793	+0.142 0		19.793	+0.142 0
D1 内径	18.631	+0.541 0		18.631	+0.541 0
めねじ規格	旧JIS PF1/2-14(B級)		→	現JIS G 1/2-14	
	基準径	許容差		対応規格無し	
D 谷の径	20.955	~ 0	→	対応規格無し	
D2 有効径	19.793	+0.284 0			
D1 内径	18.631	+0.541 0			



YAMAWA の管用平行ねじ用「PFタップ」と「Gタップ」は、全長とねじ部の長さが異なりますが、等級精度は「Ⅱ(2級)」で同じです。参考に「1/2-14」の寸法のタップ形状と等級精度を、下表にて比較してみてください。



商品	呼び	全長(L)	ねじ長(l)	シャンク径(Ds)	四角部の幅(k)	四角部の長さ(lk)	外径		有効径		谷の径	
							基準寸法	許容差	基準寸法	許容差	基準寸法	許容差
ハンドタップ	PF1/2-14	80	35	18	14	17	20.955	~ +0.115	19.793	+0.055 +0.025	18.631	+0.055 ~
ハンドタップ	G1/2-14	87	26	18	14	17	20.955	~ +0.115	19.793	+0.055 +0.025	18.631	+0.055 ~